

研究協力をお願い

昭和大学では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、指定の Google フォームより不同意の旨をご提出ください。研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

看護系大学の学生が抱く「障害児の親の障害受容」観

1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年度に小児看護学方法論 を履修し、第 10 回授業の事前学習課題のアンケートを提出した学生の皆様 約 100 名

2. 研究目的・方法

1) 研究の目的と意義

障害児の親は、障害を受けとめる過程において様々な心情を経験しており、心情に寄り添った看護が必要です。本研究の目的は、障害児の親の障害受容に関する教育を受ける前の看護学生が抱く、「障害児の親の障害受容」観を明らかにすることです。 本研究の成果は、看護基礎教育において障害児の親の障害受容に関する内容を教授する科目の学修到達目標や学修方略を検討に活かすことができます。

2) 研究方法

本研究では、あなたが事前に回答した小児看護学方法論 第 10 回「障害のある子どもと家族の看護」の事前学習課題として行ったアンケート(提出期限:2024年10月31日)の結果を分析します。

この研究では新たに収集する情報はないため、この説明後に研究に参加いただく期間はありません。

3) 倫理的配慮

- 研究参加への同意は自由意思によること、同意した場合であっても随時これを撤回できる旨
この研究に参加するかどうかは、あなた自身の意思で自由に決めていただきます。参加をお断りになっても不利益を受けることは一切ありません。
- プライバシー・個人情報の保護
この研究によって得られたあなたの回答内容などは、看護学の学術集会や、看護学専門誌などに発表する論文などに使われますが、あなたに関する情報は個人の氏名、学籍番号、個人を識別できる情報を削除し符号化した個人情報として適切に取り扱います。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結

果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者の同意取得後、事前学習課題のアンケート調査結果から下記の設問の回答を収集します。
(1～3 は、「とてもそう思う」～「まったくそう思わない」の 10 段階評価、4 は自由記述)

1. 障害のある子どもの親は、自分たちのことを犠牲にしても子どものことを優先すべきだと思う。
2. 障害のある子どもは親と一緒に暮らすべきだと思う。
3. 障害のある子どもの世話は家族が担うべきだと思う。
4. 「子どもの障害を親が受容する」とは、どのような状態だと思えますか？看護支援が目標とする姿について、現時点での考えを簡潔に記述してください。

5．外部への試料・情報の提供

本研究では該当いたしません。本研究で得た情報は、研究代表者の小泉麗の研究室で保管・管理します。情報の保管に当たっては、施設内の学部から切り離されたコンピューター内に保管します。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学保健医療学部看護学科 准教授 小泉 麗

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

・照会先

所属：昭和大学保健医療学部看護学科 氏名：小泉 麗

住所：横浜市緑区十日市場町 1865 電話番号：045-985-6606 Mail：r_koizumi@nr.showa-u.ac.jp

- ・研究への利用を拒否する場合の連絡先：下記 QR コードを読み込み提出してください。

研究への利用を拒否する場合は
こちらから参加不同意の旨を提出してください

